

平成24年度予算の主要施策の概要

～ 「心おどる水都・とくしま」の実現を目指して ～

[拡] → 事業拡充

[新] → 新規事業

[定] → 定住自立圏関連事業

「元気とくしま」の実現

個性的で活力と魅力にあふれた、全国に存在感を発信できる、「元気とくしま」の実現を目指します。

1. 「心おどる水都・とくしま」発信事業 ※一部、[定] 14,980千円

「心おどる水都・とくしま」発信プランに基づき、産学官民が連携して、魅力あるモノづくりとまちづくりに取り組むとともに、全国へ向けた戦略的なプロモーション活動を展開する。

※ H24：イメージアップキャラクターや専用Webサイトを活用したPR活動など

2. 定住自立圏構想推進事業 [定] 1,875千円

「徳島東部地域定住自立圏共生ビジョン」に基づき、圏域全体の活性化と魅力ある地域づくりに資する連携事業を推進するとともに、圏域の住民に対し、定住自立圏構想について、PR活動を実施する。

3. LEDが魅せるまち・とくしまの推進

本市の豊かな自然環境と地域資源であるLEDを活用したまちづくりを推進するため、3年ごとに開催する「徳島LEDアートフェスティバル」を起爆剤とし、これまで整備してきた水と緑の魅力に、LEDによる「光」の要素を加えることで、新たな魅力の創造と、まちのにぎわい及び地域経済の活性化を促進する。

(1) LEDアートフェスティバルの推進 113,861千円

(LED作品の制作、プレイベント [HOP・STEP] の開催、広報活動など)

※ プレイベントの開催

「徳島LEDアートフェスティバル2013HOP」：4月20日(金)～22日(日)

「徳島LEDアートフェスティバル2013STEP」：秋頃を予定

(2) LED景観整備事業 30,090千円

(新町橋 [上流部分] のLEDによる景観整備)

(3) LED起業家育成資金貸付金 20,000千円

(市内で新たにLED関連事業を起こそうとする中小企業に対して資金を融資)

※ 融資限度額：設備投資を伴う場合10,000千円、設備投資を伴わない場合5,000千円

融資利率：年1.9%以内、融資期間：7年以内

4. まちなかキャンパス推進事業 8,238千円

まちのにぎわいを創造するため、産学官連携により、中心市街地の空き店舗を活用して、ゼミなどの授業を行う大学のサテライト教室としての利用ができるほか、サークル活動やそこに集まる学生たちの交流・活動の場としての利用ができる空間を創設する。

5. コールセンター等立地促進事業 31,600千円
雇用の促進を図るため、コールセンター等の情報通信関連事業所に雇用奨励金を交付するとともに、事業所開設時における改装費用の一部を補助する。
6. 徳島東部地域体験観光市町村連絡協議会負担金 [定] 7,300千円
地域経済の振興や観光客誘致の促進を図るため、徳島東部地域市町村長懇話会構成12市町村による連絡協議会を設置し、広域的な観光メニューを検討・協議するとともに、連携して様々な事業展開を実施する。
7. 広域観光案内ステーション事業 [定] 15,238千円
広域的な観光資源を活用した長期滞在型観光を推進するため、12市町村の観光資源や情報の収集・発信を一元的に管理できる「広域観光案内ステーション」を整備し、観光・宿泊案内や観光メニューの紹介など、滞在交流期間の増大や観光消費の拡大を図る。
※ H23：ステーションの整備、H24.4～：開設（アミコビル地下1階）
8. おもてなし観光の推進
本市を訪れる方々が安心して楽しめることができるよう、伝統ある遍路の「お接待」の心で、温かくおもてなしする環境整備等を推進する。
- (1) 着地型観光推進事業 3,630千円
(観光モデルコースの選定とマップの作成、モニターツアーの実施など)
- (2) 阿波おどり魅力体験事業 5,756千円
(貸出し用ちびっこハッピーの製作、にわか連のハッピー貸し出しなど)
- (3) 電動スクーター等観光レンタル事業 [定] 11,000千円
(観光地巡りの交通手段として、電動スクーターや自転車等のレンタル事業を実施)
9. 農産物魅力発信事業 [定] 1,900千円
農林水産物の利用拡大を図るため、関係機関と連携を図りながら、農産加工品の開拓や農産物の県内外へのPR・販売促進を図る。
※ 開設場所：アミコビル地下1階(広域観光案内ステーション内)
10. 地産地消推進事業 ※一部、[定] 5,500千円
農林水産物の良さや魅力を再認識してもらい、地場食材の利用拡大を図るため、「とくしまIPPIN店」による試食会や、食材のPR・販売などを実施する「とくしま食材フェア」を周辺市町村とともに開催する。
※ 開催時期：11月頃を予定
11. とくしまIPPIN店拡大調査事業 10,624千円
地元食材を使ったメニューを商品化した「とくしまIPPIN店」のさらなる拡大に向け、名物料理等の調査・情報収集、新規認定店の開拓調査・PR活動を実施する。
※ H24.2現在の認定IPPIN店：100店
12. 健やか新鮮ブランド産地づくり事業 17,556千円
農林産物の「とくしまブランド」確立と生産体制の強化を図るため、農林産物の販売促進活動や、施設環境の整備等に対して支援する。
※ しいたけ栽培施設の整備、みかん用製函機の整備、有害鳥獣用電気柵の整備など

13. 農業者戸別補償制度等の推進

食料の自給率向上を図るため、農業経営の安定と国内生産力の確保や、戦略作物への作付転換の促進など、農産物の計画的生産を推進する。

(1) 制度の普及・推進 **4,000千円**

(生産数量目標の設定、作付面積等の確認・調査、制度の普及活動など)

(2) 農地集積推進事業 [新] **4,750千円**

(地域農業マスタープランの作成、農地集積協力者への支援など)

(3) 新規就農者支援事業 [新] **30,000千円**

(新規就農者に対する就農給付金を給付 [経営開始から5年間: 限度額1,500千円/年])

14. 新町西地区市街地再開発事業 **1,014千円**

中心市街地の都市機能再生を図るため、新町西地区の地元権利者が中心となって計画している再開発事業に対して支援する。

※ H24: 推進事務費など

15. (仮称) 徳島市景観まちづくり条例制定事業 **1,202千円**

本市の豊かな自然環境を生かした市民参加による総合的な景観づくりを進めていくことができるよう、景観法を適用した本市独自の景観まちづくり条例を制定する。

※ H22: 条例制定市民会議の開催、景観形成の基本方針の検討

H23: 景観計画に係る基本計画案づくり

H24: パブリックコメント、条例の制定

16. 高速道路・街路整備の推進

四国の玄関口にふさわしい高速交通体系を構築するため、四国横断自動車道や環状道路、街路の整備を進めるとともに、人々が集い、行き交う環境づくりを推進する。

(1) 四国横断自動車道関連の整備 **594,904千円**

(川内地区: 側道整備 [H23~26]、周辺対策 [道路・水路の整備])

(2) 街路の整備 **223,959千円**

(住吉万代園瀬橋線 [昭和工区、南昭和工区]、昭和・大道線)

17. 鉄道高架促進事業 **16,403千円**

鉄道により分断された市街地の一体化、交通渋滞の緩和を図るため、県市協調のもと、JR徳島駅西から文化の森駅付近までの鉄道の連続立体交差事業を促進する。

※ 都市計画決定に向け必要となる諸調査など

18. 地域交通ネットワークの構築

本市の公共交通の中心であるバス路線のあり方を検討し、市民の利便性や運行の効率性を図った地域交通ネットワークを構築する。

(1) 地域公共交通活性化事業 **38,587千円**

(市長部局に移行する路線の計画的な実証運行 [H24: 天の原西線・17号線・一宮線])

(2) 地域自主運行バス等支援事業 **2,400千円**

(公共交通不便地域等で地域住民が自主運行するバスの維持費用を支援)

19. 国民文化祭開催事業 [新] **1,000千円**

徳島県で開催される国民文化祭で公演が予定されている、伝統文化「阿波藍」をモチーフとした市民演劇や、音楽文化の向上と次世代の育成を図るため、中学生や高校生のバンドグループを

対象にした「とくしまジュニアバンド塾」の開講に対して支援する。

20. 市高生「夢」実現応援事業

自らの「夢と未来」の実現に向かって頑張る市高生を文武両面から支援する。

(1) 学力向上の推進 2,909千円

生徒の多様な進路希望を達成させるため、確かな学力を身につけることができるよう、教員の教科指導のスキルアップや専門家の招聘などを実施する。

(2) 部活動の強化 4,563千円

従来のサッカー部の強化に加え、すべての運動部を対象に基礎体力の養成と競技力の向上、また、文化部では高大連携による高い技術の修得と教員の指導力向上を図るため、各分野の専門家招聘による指導や教員の派遣研修などを実施する。

21. 学校施設の整備・充実

安心で快適な教育環境を確保するため、小・中学校における耐震性が低く、かつ老朽化も著しい施設の増改築を計画的に実施する。

(1) 城東小学校の屋内運動場増改築 306,108千円

(H22:実施設計、H23～24:増改築工事)

(2) 大松小学校の屋内運動場増改築 163,624千円

(H23:実施設計、H24～26:増改築工事)

(3) 沖洲小学校の校舎等増改築(用地取得含む) 397,999千円

(H23:基本設計、H24:用地取得・実施設計、H25～27:増改築工事)

(4) 徳島中学校の屋内運動場増改築 375,460千円

(H23:実施設計、H24～26:増改築工事)

22. 放課後子ども教室推進事業 9,361千円

子どもに安全で安心できる活動拠点として、小学校の余裕教室などを活用した放課後子ども教室を開設し、学習や運動、文化活動、地域住民との交流活動等を実施する。

※ H23 現在：6か所

23. 丈六寺書院改修事業 [新] 13,342千円

老朽化に伴い、県指定の文化財である丈六寺の書院を全面改修する。

※ H24～25:改修工事

24. 公園施設芝生化事業 [新] 50,000千円

地域における身近な公園施設の整備を実施するとともに、市民が憩い安らぐ空間づくりを進めるため、鮎喰川河川敷緑地の天然芝生化を実施する。

25. 地域スポーツ団体支援事業 2,980千円

生涯スポーツ社会の実現を図るため、自主運営型の総合型地域スポーツクラブの設立や啓発活動を支援する。

※ 設立支援：500千円/団体、活動支援：90千円/団体

26. 東部地域ニュースポーツフェスティバル開催事業 [新・定] 2,315千円

定住自立圏共生ビジョンに基づき、障害者も含め、年齢・体力・運動技術などに応じ、気軽に楽しむことのできるニュースポーツ大会を周辺市町村と共同開催する。

※ 実施市町村：徳島市他6市町、予定種目：カローリング、グランドゴルフなど

27. スポーツ・レクリエーション施設の整備 **64,890千円**

多くの市民が利用する体育施設の安全性と利便性の向上を図るため、老朽化した球技場の電光掲示板改修を実施する。

28. 奨学金貸付事業 **18,158千円**

教育の機会均等を図るため、経済的な理由などにより、就学が困難な大学生に対して無利子で奨学金の貸付を実施する。

※ 募集人員：20名

※ 奨学金：県内大学20,000円／月、県外大学30,000円／月

「安心とくしま」の実現

すべての人が生涯を通じて、心も体も健康で、いきいきと暮らすことのできる、「安心とくしま」の実現を目指します。

1. 妊婦健康診査事業 246,886千円
妊婦の健康保持・増進及び母子感染防止を図るため、妊娠週数に応じた健診・検査(14回分を全額公費負担)を実施する。
2. 健康診査事業 204,580千円
健康づくりの認識と自覚の高揚を図るため、各種がん検診、B・C型肝炎ウイルス検診などを実施する。
※ 大腸がん・乳がん検診：40歳以上60歳までの5歳刻みで無料検診
子宮がん検診：20歳以上40歳までの5歳刻みで無料検診
B・C型肝炎ウイルス検診：40歳以上70歳までの5歳刻みで無料検診
3. 予防接種事業の充実
感染症の発生や流行の予防などを図るため、免疫力の強化や病気に対する抵抗力を身につけることができるよう、疾病の予防に有効であることが確認されているワクチンの接種を支援する。
 - (1) 個別予防接種 265,567千円
(BCG、三種混合、二種混合、麻しん、風しん、日本脳炎)
 - (2) インフルエンザ予防接種 56,157千円
(高齢者を対象に一部助成)
 - (3) 子宮頸がん予防接種 67,797千円
(新中学1年生及び中学2年生から高校2年生の未接種者を対象に全額助成)
 - (4) ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチン接種 181,289千円
(生後2か月～5歳未満の乳幼児を対象に全額助成)
4. 第3子以降保育所・幼稚園保育料の無料化等
保護者の経済的負担を軽減するため、第3子以降の保育所に入所する児童、幼稚園に在籍する園児に対し、保育料負担軽減を実施する。
 - (1) 認可保育所・幼稚園の保育料無料化 歳入△163,586千円
(認可保育所：△150,000千円、市立幼稚園：△13,586千円)
 - (2) 国・私立幼稚園の保育料負担軽減補助 4,581千円
(市立幼稚園保育料相当額を軽減補助)
5. 一時預かりの充実
子育てを側面から支援するため、保育ニーズの多様化等を踏まえ、一時預かりの拡充に取り組む。
 - (1) 私立保育所の一時的預かり事業 [拡] 79,444千円
(H24:13か所 → 15か所で実施)
 - (2) 保育所機能整備緊急対策補助 3,750千円
(私立保育所に対し、乳幼児室や一時預かり室の整備費を助成)
 - (3) 病児・病後児保育事業 [定] 41,286千円

〔 H24～：周辺市町村との広域利用開始
利用施設：5施設→6施設、利用料金：2,000円/人→1,800円/人 〕

6. (仮称)加茂・佐古統合保育所新築事業 264,361千円

市立保育所機能の強化を図るため、加茂・佐古地区において、待機児童解消に向けた低年齢児(0～2歳児)の受入れ拡大や、地区の子育て支援拠点としての機能を有する保育所を整備する。

※ H23～24:新築工事[在宅育児家庭相談室併設]、H25～:供用開始予定

7. 乳幼児等の医療費助成 755,091千円

乳幼児等における疾病の早期発見と治療を促進するとともに、安心して子どもを産み育てることのできる環境づくりを推進するため、乳幼児等に係る医療費の一部を支援する。

※ 対象者：小学3年生修了まで

8. (仮称)昭和児童館建設事業 23,523千円

街路事業に伴い、富田中学校敷地の一部を活用して、昭和コミュニティセンターに併設して児童館を建設する。

※ H23：実施設計、H24～25：建設工事

9. 学童保育事業 [拡] 201,170千円

保護者が仕事等により昼間家にいない児童を対象に、適切な遊びと生活の場を提供する学童保育を実施する。

※ H24 予定：学童保育37カ所→38カ所(障害児受入れ27カ所→30カ所)

10. 子育て安心ステーション運営事業 [新] 14,423千円

駅前に移転する図書館に隣接する立地を活かし、誰もが安心して気軽に子育てに関する情報収集や相談、交流できる機能を有する子育て安心ステーションを整備する。

11. 障害者の自立支援

障害者が地域で安心して暮らせることを目的として、障害者に対する各種自立支援事業を実施する。

(1) 介護給付費・訓練等給付費 3,307,220千円

(居宅介護、短期入所、自立訓練、共同生活援助等のサービスを支援)

(2) 更生医療給付費 584,868千円

(人工透析、ペースメーカー等の自立支援医療費の支給)

(3) 相談支援事業 29,103千円

(相談からサービス利用までの手続きや自立支援協議会の運営等)

(4) 地域活動支援センター事業 [拡] 72,900千円

(通所による創作的活動又は生産活動の場の提供等、H24：10か所→12か所)

(5) 障害者虐待防止対策支援事業 [新] 2,328千円

〔 障害者に対する虐待防止・安全確保等を図るため、障害者虐待防止センターを設置し、関係機関との連携体制を整備するとともに、障害者虐待の通報・届出の受理、事実確認、養護者に対する支援などに取り組む。 〕

12. 地震・津波対策等の強化

高い確率で発生が予測されている東南海・南海地震などの大規模災害に備えるため、東日本大震災を踏まえた地震・津波に重点を置いた減災対策などに取り組む。

- (1) 津波避難計画調査事業 [新] 9, 349千円
(津波避難計画の策定、H24：津波浸水予測地域の調査、津波避難施設の調査など)
- (2) 災害用備蓄物資整備事業 52, 280千円

H24：[食糧] 58, 500食、[水] 41, 500本、[毛布] 10, 000枚
H24年度末：[食糧・水] 117, 000食・本、[毛布] 20, 000枚

→ ※小・中学校やコミセン等に分散備蓄
- (3) 避難施設応急物資備蓄事業 3, 009千円

発電機などの応急物資を備えた倉庫を計画的に設置
※ ~H23：コミセン、小学校に設置、H23~26：14中学校[~H24：6校]
- (4) 避難所機能強化事業 5, 980千円
(地震動に連動し解錠する鍵保管庫の設置、H24：小・中学校など26箇所に整備)
- (5) 津波避難標識整備事業 1, 318千円
(津波避難ビルとなる施設に標識を設置、H24：民間142箇所、公共22箇所)
- (6) 緊急地震速報機の設置 [新] 4, 766千円
(コミュニティセンターや学校施設などの公共施設に緊急地震速報機を設置)
- (7) 地震津波対策機材整備事業 [新] 1, 129千円
(避難困難地区等の市立保育所に、「避難車」を整備)
- (8) 家具転倒防止対策推進事業 [拡] 2, 323千円
(対象：75歳以上→65歳以上の高齢者世帯、障害者世帯[器具代は自己負担])
- (9) 地域防災力強化事業 1, 000千円
(実践的な情報を示した地域独自の防災マップを作成、H24：市内2地区程度で実施)
- (10) 災害時要援護者台帳整備事業 3, 545千円
(高齢者など要援護者データを共有管理する台帳システムを構築)
- (11) 住民情報バックアップ事業 [新] 1, 890千円
(大規模災害発生時に備え、住民情報を同時被災しない地域で保管)
- (12) 被災者支援システム事業 [新] 3, 178千円
(災害時における被災者の被害情報や支援情報を一元管理・運営するシステムを導入)

13. 民間建築物の耐震化促進

民間建築物の耐震化の促進を図るため、耐震診断費用や耐震改修費用を支援する。

- (1) 既存木造住宅耐震化促進事業 42, 470千円
(無料で耐震診断、耐震改修費用の2/3を助成[上限600千円])
- (2) 既存建築物耐震改修促進事業 8, 145千円
(病院やホテル等の特定建築物に係る診断費用の2/3を助成[上限2, 000千円])

14. 公共施設の耐震対策

1, 634, 924千円

旧耐震基準の公共施設の早期耐震化を進めるため、計画的に、施設の耐震診断や耐震補強・改修事業を実施する。

※ 市立保育所、市営住宅、水道施設(耐震ループ管、重要給水施設等)など

15. 公共施設の計画的な維持管理等の推進

老朽化が進んでいる本市の公共施設の効率的な維持管理を行うとともに、中長期的な財政負担の平準化・軽減化を図るため、年次計画を策定し、施設の維持管理等に取り組む。

- (1) 公共施設維持管理計画策定事業 [新] 6, 560千円
(公共建築物を対象に維持管理計画を策定)
- (2) 公園施設長寿命化事業 [新] 24, 000千円

- (H24～25：公園施設の長寿命化計画を策定)
- (3) 動物園管理運営計画策定事業 [新]** **9, 124千円**
 (H24～25：動物園施設の維持管理及び運営計画等を策定)
- (4) 橋りょう長寿命化事業** **95, 000千円**
 (「長寿命化修繕計画」に基づき、橋りょうの修繕を実施)
- 16. 矢三西雨水排水ポンプ場建設事業** **261, 000千円**
 雨水対策施設の整備を推進するため、矢三西地区の都市下水路整備に必要な雨水排水ポンプ場を建設する。
 ※ H23～25(3カ年)：構造物の土木工事、H26～：上屋の建築、電気・機械設備の整備
- 17. 消防救急無線のデジタル化 [新]** **7, 850千円**
 電波法及び関係審査基準の改正により、消防救急無線のデジタル化に向けた整備を実施する。
 ※ H24：実施設計、H25～26：基地局等の整備
- 18. 消防水利施設整備事業** **11, 611千円**
 迅速かつ円滑な消火活動を実施するため、計画的に防火水槽の整備等を実施する。
 ※ H24 新設：多家良地区
- 19. 高度救助用資機材整備事業** **14, 413千円**
 高度救助隊が円滑な救助活動が行えるよう、老朽化した画像探索機の更新及び熱画像直視装置を増強する。
- 20. 消防ポンプ自動車等整備事業** **56, 485千円**
 消防力の強化及び地域防災力の向上を図るため、老朽化の著しい西消防署と津田分団の消防ポンプ自動車等を更新する。
- 21. 分団詰所整備事業** **37, 594千円**
 都市計画道路(住吉万代園瀬橋線)の整備を進めるため、富田中学校敷地の一部を活用して、昭和分団詰所の移転・新築に伴う工事を実施する。
 ※ H23：実施設計、H24：建設工事
- 22. 危険廃屋解体費支援事業** **1, 500千円**
 長年放置され、周辺住環境を悪化させている危険な廃屋への対策として、その解体に必要な費用の一部を支援する。
 ※ 解体費用の1/2を助成(上限300千円)
- 23. LED防犯灯設置補助** **2, 950千円**
 環境に配慮した省エネルギー化を促進するため、町内会等が新たにLED防犯灯を設置する場合に係る費用を支援する。
 ※ 上限20千円/灯
- 24. 庁舎等省エネルギー化の推進**
 環境に配慮した省エネルギー化・温室効果ガスの排出削減を推進するとともに、維持管理コストの削減を図るため、民間事業者のノウハウや資金調達、維持管理能力などを活用したESCO事業に取り組む。

※H23～：本庁舎及び徳島城博物館で実施

25. **住宅用太陽光発電導入支援事業 [定]** **10,000千円**
地球温暖化対策を推進するため、住宅用太陽光発電システムを設置する場合において、その費用の一部を支援する。
※ 助成対象:太陽光発電システム、助成額：50千円/件
26. **緑のカーテンモデル事業 ※ゼロ的予算事業に再掲** **362千円**
保育所、小学校などの公共施設を活用して、ゴーヤ等による緑のカーテンを設置するとともに、市民向けの栽培講座を実施し、地球温暖化対策に有効な緑のカーテンの普及を図る。
27. **ごみ減量・再資源化推進事業** **36,665千円**
市民団体による資源ごみ回収事業(古紙類、アルミ缶等の金属類、古布、廃食用油など)を実施するとともに、食品トレイの回収ボックスを設置するなど、ごみの減量と再資源化を促進する。
28. **浄化槽設置推進事業** **143,770千円**
河川などの保全と水質浄化を促進するため、合併処理浄化槽の設置者に対して設置費用の一部を支援する。
※ H24：770基(新設：650基、転換：120基)を予定
29. **合流式下水道緊急改善事業** **1,053,200千円**
合流式下水道における公共用水域への汚濁負荷量を分流式下水道の汚濁負荷量と同程度以下にするための施設整備を行う。
※ H23～25(3カ年)：中央浄化センターの施設改善等
30. **耕作放棄地再生活動支援事業** **540千円**
地域の貴重な資源である農地の有効利用を図るため、耕作者及び新規就農者等による耕作放棄地の復旧活動に対して支援する。

「信頼とくしま」の実現

市民・事業者・行政がともに信頼しあい、市民がまちの主役としていきいきと輝くことのできる、「信頼とくしま」の実現を目指します。

1. 広報紙発行事業 49,830千円
多くの市政情報をよりわかりやすく発信するため、「広報とくしま」の4ページ（1日号）、8ページ（15日号）の発行を実施する。
2. 市民満足度調査事業 940千円
本市が行う各施策に対する市民の満足度を把握し、今後の施策展開に生かすため、市民満足度調査を実施する。
※ 定期的（2年に1回）に実施、18歳以上の市内在住者3,000人を対象
3. 昭和コミュニティセンター建設事業 95,817千円
街路事業に伴い、富田中学校敷地の一部を活用して、昭和コミュニティセンター（児童館併設）を移転・建設する。
※ H23：実施設計、H24～25：建設工事
4. 「地域の力」まちづくり支援事業 1,424千円
豊かで活力ある地域社会を実現するため、地域の特性を活かした独自の地域活動を創出するとともに、これからのまちづくりを担う人材の育成を支援する。
※ H22～24：モデル地区（八万・津田・一宮）で実施
5. 市民提案型身近な道路を良くするモデル事業 33,400千円
道路の安全・安心を図り、市民の道路整備に関する意識を高めるため、市民から提案のあった事業を審査委員会に諮り、市道の改善等を実施する。
※ H23：市道改善の募集と審査委員会での選定、H24：選定した市道の改善を実施
6. アドプト事業の推進
本市が管理する施設を清掃活動する市民団体、町内会等を認定団体とし、活動に必要な清掃道具等を支給し、清掃活動を通じて市政に対する市民参加の推進を図る。
 - (1) 農業施設アドプト事業（農道・農業用水路）※ゼロ的予算事業に再掲 263千円
 - (2) みちピカ事業（市道） 1,740千円
 - (3) パークアドプト事業（公園） 1,109千円
7. 行財政健全化の推進 1,113千円
本市の将来像「心おどる水都・とくしま」実現のための行財政基盤の強化を図るため、第2期の行財政健全化（H22～25）に取り組む。
8. 休日窓口の開設
平日に市役所を訪れる時間がとれない市民への利便性の向上を図るため、住民異動手続きや証明書の交付などの窓口業務を行う休日窓口を開設する。
※ 開設日：毎月第2・第4日曜日→8:30～12:00

開設場所：本庁舎1階

取扱業務：転入・転出など住民異動に伴う手続、戸籍謄抄本・住民票など証明書の交付

9. コンビニ収納導入事業 **21,280千円**

市民の利便性向上を図るため、軽自動車税のコンビニ収納を開始するとともに、その他の市税等におけるシステム改修を実施する。

※ H24：軽自動車税のコンビニ収納開始、市民税・資産税・国保・介護などのシステム改修

10. 住民記録システム開発事業 **14,332千円**

法律の改正に伴い、外国人住民の住民基本台帳への登録が必要となったことから、これまでの住民基本台帳を見直し、外国人住民を含めた新たな住民記録システムを構築する。

※ H23～24：システムの構築、H24.7～：稼働予定

11. 政策立案研究費 **1,213千円**

戦略性の高い政策立案と職員の政策形成能力の向上を図るため、緊急度や重要度の高いテーマをはじめ、本市にとって必要な政策などについて、大学や民間シンクタンクなどの研究機関の協力を得ながら、調査・研究を実施する。

12. 職員研修 ※一部、[定] **15,807千円**

職員一人ひとりが常に市民の目線に立ち、能力や専門性を主体的に向上させ、市民のために自ら考え行動する職員を育成するため、基礎知識を中心とした基本研修をはじめ、マネジメント研修、政策立案研修、意識改革講座などの専門研修を実施する。

なお、一部研修を周辺市町村との合同研修会として実施する。

13. ゼロ的予算事業の推進[拡]

知恵と工夫により、「少ない経費で大きな効果が期待できる」事業を推進する。

※ H23までに取り組んだ事業数：50事業 → H24：新たに4事業を追加

(事業詳細については、P16「ゼロ的予算事業への取り組みについて」を参照)